

# 株式会社エスピーアール

## 戦略的Solution Partnerとして

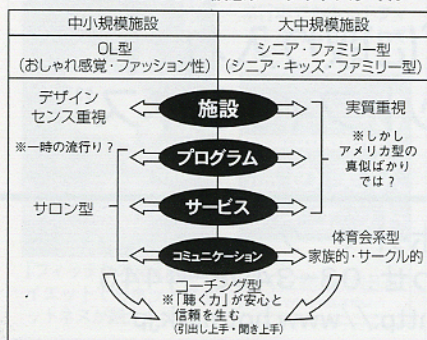
——生活者のニーズを掘り起こし、会員数減少の問題点を解決するために——

団塊の世代の退職や、高齢者人口の増加を背景にフィットネス事業者の担う役割はますます大きくなってきています。ところが、フィットネスクラブの多くは、地区別格差や新規入会者の伸び悩み、会員継続の問題などを抱えています。

### ● 敷居が高い

新規入会に関していえば、一般生活者から見てまだまだクラブは“敷居が高い”存在なのかもしれません。バブル崩壊後の景気減退の中、逆に脚光を浴びた健康ブーム。健康増進法や将来を見据えた予防医学の必要性からも生活者は、その必要性に気が付いていないわけではないと思います。気が付いているけれど自分のことになると、“ちょっとね”と。こんなふうによくの方は感じているのだと思います。しかし、そんななか、次のように言う人もでてきています。「時間とお金に余裕がないと、運動を避けてきました。会社の健康診断をうけてその結果に愕然。ようやく重い腰を上げました。歳はもう50代。でもクラブに通って運動をやってみると、いい感じに。友達も出来て良かった。」何のことはない、やってみればわけもないことだったという人は多いと思うのです。では一体何が敷居を高くさせているのでしょうか？先の方は、“健康診断”というきっかけで、行動変容したわけですが、人によってきっかけは、ダイエットだったり、ストレス解消だったり体を動かすのが好きだったりするわけです。要は、クラブへの参加誘引は個々の生活者の個人的な動機や意識レベルの問題にあるということです。

### ■ フィットネスクラブの仮想ターゲットスタイル



### ● 発信し続ける重要性

だから、クラブとしてはそうしたそれぞれの動機や意識を刺激することをし続ける必要があります。

### ● 楽しく長続きするフィットネスを！

とりわけ、その発信においては、欧米のように、もっと気軽に、毎日の生活の中にフィットネスを取り入れることを提案していくことが大事になると思います。また、肉体的にも精神的にも、苦しくない楽しいフィットネスをPRし、実行することを呼びかけていくことがよいと思います。楽しさを理解すれば、新規入会が増えると共に、退会も減り、在籍会員数の減少に少なからず歯止めがかかるはずで

### ● ターゲティングの重要性

図1のような仮想ターゲットスタイルを作ってみました。これは、OL型とシニア・ファミリー型と二分し比較した例です。日本の従来型の子供スイミングスクールにちょっとしたフィットネスゾーンを付帯させた施設や大人と子どもを対象にした総合スポーツクラブは図のシニア・ファミリー型に近い施設といえます。こちらにはプールがついています。一方、図のOL型というのはプールなどは無く、最近はやりの時間従量制やワンコインの小規模施設や岩盤浴、ヨガ・ピラティスを中心の施設などです。この2つのパターンの決定的な違いは、ターゲットを絞っているかいないか、です。OL型ははっきりOLにターゲットを定め、おしゃれ感覚とファッション性を強烈にアピールしています。例えば、施設のファサードやフロントのデザイン、「ロハス」や「ストレスリムーバル」を意識したアイテム選定などにそのことがはっきりと表れています。

### ● 変化対応型に！

会社帰りのOLさんが、なじめない雰囲気

型を貫き通す場合は問題ではありませんが、ターゲットを会社帰りのOLやその話題や流れに続く層にも定めるのであれば、自らを変化対応させていく必要があるでしょう。例えば、ターゲットセグメンテーションに欠ける部分を補うために時間で区切った会員種別をつくり、その時間に相応しい環境やサービスをつくるといった方法もあるかと思

### ● 話題性と実質性のあるクラブづくり

フィットネスクラブは基本的に地域密着型のビジネスです。そのため地道なPR作戦を展開中のことと思います。ただし、先般の“敷居が高い”と云う問題を解決するためには、それだけに止まらず、流行やブームにすると

### 企業紹介

私どもは個々のクラブさまの問題点を掘り起こし(=PLAN)、その解決策を実行し(=DO)、効果測定をする(=SEE)仕組みをベースに“フィットネスは楽しくてスタイリッシュでファッションブルだ”というイメージを想像させるデザインをする広告制作会社です。クラブのこだわりや特徴を戦略的にアピールして行くSolution Partnerとしてお役に立ちたいと考えています。主に、SP類(折込チラシ・交通広告・WEB制作SEO管理・屋外サイン・ノベルティ(Pティッシュ他))を中心に取扱っています。

株式会社エスピーアール  
代表取締役 小山田 亮  
〒233-0003 横浜市港南区港南1-7-25  
TEL 045-342-8777  
FAX 045-342-8778  
URL <http://www.spr-design.com/>  
E-mail [info@spr-design.com](mailto:info@spr-design.com)